

ICT を活用したアクティブ・ラーニング型授業の実践的研究



【千葉キャンパス】健康医療スポーツ学部 リハビリテーション学科

作業療法コース 准教授

庄司 一也 Shoji Kazuya

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : アクティブ・ラーニング・ICT・PBL・学習成果の可視化・キャリア教育



研究の概要

SDGs 目標 4 : 質の高い教育をみんなに

SDGs 目標 8 : 働きがいも 経済成長も

アクティブ・ラーニング（能動的な学習）が注目され多くの教育関係者に多大な影響を与えた。しかし「アクティブ・ラーニング」の言葉ばかりが先行しその中身が伴わない教育や表面的な学習も課題となった。

そこで本研究では以前より主体的な学習についてさまざまな手法を用い実践してきた筆者が、過去の課題等も踏まえ、学習者にとって真に主体的で深い学びとなるアクティブ・ラーニングを実践する。その際、LMS やビデオ配信サービス、AI 等の ICT ツールを有効活用しながら、質の高い学びになるよう教育改善を図る。またグループワークやディスカッションにおいて表面的な学習にならないよう、十分なクラスデザインを行い、同時に介入と見守りを使い分け適切な学習環境を構築する。

そして、学習成果や課題を AI やテキストマイニングソフトによって分析し、独自の可視化手法を用いて学外に情報発信するとともに、対外的評価を受けさらなる教育改善を図るものとする。



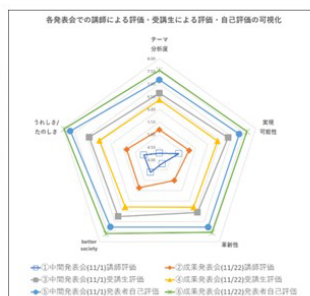
本研究におけるアクティブ・ラーニング

→“実学”を徹底的に重視した教育や実践の場において
主体的・協働的な学びの環境を構築

- ICT(LMS、ビデオ配信サービス、AI等)の有効活用
- 十分なクラスデザインと、介入と見守りを使い分け、適切な(主体的・協働的な)学習環境を構築



地域の産業界・自治体と連携した
キャリア教育や課題解決型イン
ターンシップ(PBL・PBI)等を展開



学習成果をAIやテキストマイニング
によって分析し独自の可視化手
法を用いて学外(地域)に情報発信

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

アクティブ・ラーニングによって、学生の主体的な態度と、知識・技能を育成します。

前者は、何事にも積極的に取り組む姿勢や協調性および人間性を向上させます。

後者は、汎用的能力を育成し、地域および産業界、自治体等へ幅広く貢献できる人材養成を目指します。

この学びでは、教室内授業にとどまらず地域の産業界・自治体と連携したキャリア教育や（課題解決型）インターンシップ等を通して早期に社会人と接点を持ち、学生の気づきを促し就業意識を高めることにも寄与します。

そして外部と連携することで一定の緊張感の下、適切なクラスデザインにより学習効果を より一層高めます。

地域および産業界、自治体等にとっても、早期に学生との接点を持つ貴重な機会となり、学内外の多くの関係者にとって有益な学びの機会となるような内容を目指します。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

- ・ 市原市のゴルフ場（ゴルフ場運営管理会社）との連携による課題解決型インターンシップの報告 ～文部科学省「大学等におけるインターンシップの届出制度」の6つの必要な要素を満たすインターンシップの一事例として～
- ・ 「いちばら版 Get The Point」による SDGs 教育の充実と振り返りレポートを基にしたキャンパス間の比較・分析